

からなくなっていました。本人にとっては逆に幸せなんだと思います。何の心配もなく、悩みもなく生れた状態で人生を終えるのです。

生きたいという欲望がだんだん薄くなっていく。亡くなる前日に顔を見て来て翌日に訃報を聞きました。

生前の遺志で、家族葬で行いました。5月に納骨の義を行う予定です。また何人かの知人からもお悔やみの連絡をいただき、幸せな人生だったのだと思います。